

令和4年度愛知県立芸術大学音楽学部一般選抜
試験内容及び試験曲

1. 専攻別実技試験

作曲専攻 作曲コース

- (1) 4声体による和声課題（バス課題、ソプラノ課題、バス・ソプラノ混合課題のいずれか1題が課せられます）。
……………所要時間：3時間
- (2) 器楽曲作曲
与えられたモチーフを用い、器楽曲を作曲してください。
なお、長さ、形式、楽器編成は自由。
……………所要時間：7時間。うち前半3時間（ピアノなし）／後半4時間（ピアノあり）
（前半と後半の間に移動時間あり）
- (3) 口述試験（面接を含む）
試験で書いた答案についての質疑応答。

作曲専攻 音楽学コース

- (1) 音楽学に関する基礎的試験（音楽学の学習に必要な理論的な基礎的能力を問う試験）。
……………所要時間：論述2時間及び口述試問所要時間
- (2) 外国語（英、独、仏から1科目）。解釈の能力を問う試験。……………所要時間：1時間

声楽専攻（ソプラノ、メゾソプラノ、アルト、テノール、バリトン、バス）

- 課題曲 1 曲と自由曲 1 曲を暗譜で演奏してください。

課題曲：次にあげられた課題選択曲のうち、必ず2つ以上のグループから、合計4曲を選び、
曲目提出用紙に記入し入学願書の提出書類とともに提出してください。うち1曲を当日
指定します。原則として、曲目提出後の変更は認めません。

a. 『イタリア歌曲』グループ

- | | | | |
|-----|---------------------------------|--------------------------|-----------------|
| 1. | V. Bellini | Ma rendi pur contento | (Ges, As) |
| 2. | V. Bellini | Vaga luna, che inargenti | (G, As, C) |
| 3. | G. Bononcini | Per la gloria d'adorarvi | (D, Es, F, G) |
| 4. | A. Cesti | Intorno all'idol mio | (c, d, e, f) |
| 5. | F. Durante | Vergin, tutto amor | (h, c, d) |
| 6. | G. Giordani [T. Giordani] | Caro mio ben | (C, Des, Es, F) |
| 7. | G. B. Pergolesi [A. Parisotti?] | Se tu m'ami | (es, f, g) |
| 8. | A. Scarlatti | Già il sole dal Gange | (F, G, As, B) |
| 9. | A. Scarlatti | Se Florindo è fedele | (G, As, B) |
| 10. | A. Scarlatti | Se tu della mia morte | (e, f, g) |

b. 『ドイツ歌曲』グループ

- | | | | |
|-----|--------------------------|--------------------------|---------------------|
| 11. | J. Brahms | Dein blaues Auge | (D, Es) |
| 12. | F. Mendelssohn Bartholdy | Auf Flügeln des Gesanges | (F, G, As) 第1節及び第3節 |
| 13. | F. Schubert | An die Musik | (B, C, D, E) |
| 14. | F. Schubert | Frühlingsglaube | (F, G, As) |
| 15. | F. Schubert | Seligkeit | (C, D, E) 第1節及び第2節 |

c. 『日本歌曲』グループ

- | | | | |
|-----|-------|-------------|---------------------|
| 16. | 小松 耕輔 | 母 | (F, G, As, A) |
| 17. | 中田 喜直 | 風の子供 | (B, Des) |
| 18. | 成田 為三 | 浜辺の歌 | (F, As, A) 第1節及び第2節 |
| 19. | 信時 潔 | 北秋の（「沙羅」より） | (Des, D) |
| 20. | 山田 耕筰 | かやの木山の | (C, D) |

- 曲目に記入してある各調の楽譜は、本学に用意してあります。
大文字は長調、小文字は短調を示します。
- 『イタリア古典歌曲』については、基本的に全音楽譜出版社版（畑中良輔 編）を使用します。
上記の [] 内の作曲者名は、その第1巻新版（2012年11月刊）によるものです。
- 時間の都合により、演奏をカットすることがあります。

自由曲：課題曲として提出した4曲以外のもの1曲を提出。(前掲の課題選択曲の中から提出する事も可)原則として、曲目提出後の変更は認めません。

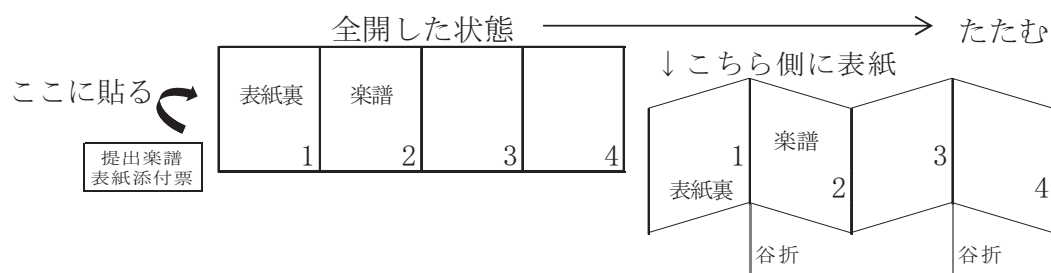
所要時間3分以上の曲については曲の途中でカットします。

歌曲(一般に歌曲として扱われている古典アリアを含む)の場合、いずれの調で演奏しても良いが、オペラ、オラトリオのアリアについては原調とします。歌詞は原則として原語とします。

- F. Wüllner : Chorübungen I No. 37 a) ~No. 77 d)の中から1曲を試験の際に指定します。
大阪開成館『全訳コールユーブングエン』(信時潔 訳)を使用します。

提出楽譜についての注意：

- 1) 自由曲伴奏楽譜は、各自必ず提出してください。
 - 2) 課題曲においても本学に用意してある調以外の調で歌う場合は、自分の選んだ調の伴奏楽譜を必ず「入学願書」に添えて提出してください。
 - 3) 提出楽譜は、1頁をすべてA4の大きさに統一し、**屏風状**に作成してください。
提出楽譜には、伴奏部に添えて必ず歌唱部と歌詞を記入してください。
手書きの場合は、丁寧かつ正確に清書してください。(鉛筆書きの場合は、鮮明にコピーしたものを提出してください。)
 - 4) 提出楽譜には、1曲ごとにA4の表紙を付け、必要事項(氏名、声種も忘れずに)を記入した「提出楽譜表紙添付票」を表紙左上隅に貼付し、2ページ以降が楽譜となるようにしてください。
 - 5) 「提出楽譜表紙添付票」が不足する場合は、コピーして使用してください。
- 以上の規定に反したものは、原則として受け付けません。



器楽専攻 ピアノコース

課題曲：

- ① J. S. Bach: 平均律クラヴィーア曲集第1巻または第2巻より任意の1曲
- ② F. Chopin: 練習曲集 Op.10 または Op. 25 より任意の1曲
- ③ L. v. Beethoven: ピアノ・ソナタより任意の1曲（全楽章）
- ④ 1950年までに作曲された任意のピアノ独奏作品（複数曲も可）※

※出版された作品に限ります。

※①②③で選択した曲と内部奏法等の特殊奏法を用いた作品を除きます。

※ソナタや組曲からの楽章の抜粋は可。変奏曲の抜粋は認めません。

第1次試験

2会場で実施します。

A会場 ①と②を演奏してください。①と②の演奏順は自由です。ただし、①はプレリュードから演奏してください。

B会場 ③のソナタの第2楽章以降を演奏してください。ただし、Op. 27-1、Op. 27-2、Op. 101、Op. 109 を選択した場合は、第3楽章以降を演奏してください。

第2次試験

1会場で実施します。

③のソナタの第1楽章を演奏してください。ただし、Op. 27-1、Op. 27-2、Op. 101、Op. 109 を選択した場合は、第1楽章と第2楽章を演奏してください。

その後、④を演奏してください。

第1・2次試験 共通

- ・全曲暗譜で演奏してください。
- ・繰り返しなしで演奏してください。（ただし24小節以内の繰り返しは自由）
- ・実技試験進行の都合により演奏を途中でカット、または演奏箇所を指定する場合があります。
- ・曲目提出用紙は、入学願書の提出書類とともに提出してください。原則として、曲目提出後の変更は認めません。

器楽専攻 弦楽器コース

器楽専攻弦楽器コース共通事項

- ・ 繰り返しなし、暗譜で演奏してください。
- ・ 課題曲・自由曲ともに、伴奏なしで演奏してください。
- ・ 時間の都合により演奏をカットする場合があります。

器楽専攻弦楽器コース提出用紙について（入学願書の提出書類とともに提出してください。ハープを除く。）

- ・ ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスの受験者は、提出用紙に、課題曲 b) 及び自由曲の作曲者名、曲名を欧文で記入してください。
- ・ ヴァイオリン受験者は、第2志望（ヴィオラ）の有無にも○を付けてください。
- ・ コントラバス受験者は、楽器借用希望の有無に○を付けてください。
- ・ 原則として、曲目提出後の変更は認めません。

ヴァイオリン

（1）課題曲

a) Carl Flesch: Scale System より B-dur

No. 5 全部、No. 6 最初の4小節、No. 7 最初の4小節、No. 8 最初の4小節
リズムと No. 5 のスラーは、C-dur に準じます。重音のスラーは4分音符単位とします。

b) 次の4つの練習曲集、もしくは同等以上の練習曲集より任意の1曲を選択し演奏してください。

J. Dont: 24 Etüden und Capricen Op. 35

P. Rode: 24 Capricen

P. Gaviniès: 24 Etüden

N. Paganini: 24 Capricen Op. 1

（2）自由曲

古典派以降の任意のヴァイオリン協奏曲の第1楽章、カデンツァを含みます。

ヴィオラ

（1）課題曲

a) Carl Flesch: Scale System より 任意の調性

No. 5 全部、No. 6 最初の4小節、No. 7 最初の4小節、No. 8 最初の4小節
リズムと No. 5 のスラーは、C-dur に準じます。重音のスラーは4分音符単位とします。

b) B. Campagnoli: 41 Caprices もしくは J. Palaschko: 20 Studies Op. 36 より任意の1曲

（2）自由曲

古典派以降の任意のヴィオラ協奏曲の第1楽章、カデンツァを含みます。

チェロ

(1) 課題曲

a) J. Loeb: Gammes et arpèges より D-dur

4 オクターブの音階、4 オクターブの分散3度を、4つずつのスラーで。

4 オクターブのアルペジオを、3つずつのスラーで。

2 オクターブの3度重音、2 オクターブの6度重音を、スラー無しでレガートで。

b) J. L. Duport: The 21 Famous Exercises (Etudes) より任意の1曲

(2) 自由曲

古典派以降のチェロ協奏曲(カデンツァを含む)もしくは古典派のチェロソナタより任意の楽章。

コントラバス

(1) (2) 共にオーケストラ・チューニングで演奏してください。

(1) 課題曲

a) 音階 C-dur 2 オクターブ 譜例参照

The image shows a musical score for double bass, exercise a). It consists of five staves of music. The first staff is in C major, 2/4 time, and shows a scale starting on C2, followed by a scale starting on G2, and then a scale starting on C3. The second staff shows a scale starting on C3, followed by a scale starting on G3, and then a scale starting on C4. The third staff shows a scale starting on C4, followed by a scale starting on G4, and then a scale starting on C5. The fourth staff shows a scale starting on C5, followed by a scale starting on G5, and then a scale starting on C6. The fifth staff shows a scale starting on C6, followed by a scale starting on G6, and then a scale starting on C7. The score includes various musical notations such as slurs, accents, and dynamic markings like 'v' and 'sva'.

b) O. Rühm: Progressive Etüden für Kontrabass Heft 1 より Nr.16 Allegro con moto

(2) 任意の自由曲

ハープ

ハープ受験者は、本学で用意した楽器で演奏します。楽器の持ち込みは不可です。

(1) 課題曲

a) R. N. C. Bochsa: Célèbres Etudes Cinquante Etudes Op. 34 より No. 5 及び No. 10

b) F. J. Naderman: 7 Sonates progressives より No. 2 Prélude 及び Sonatina

(2) 自由曲はありません。

器楽専攻 管打楽器コース

器楽専攻管打楽器コース共通事項

- ・課題曲等について、暗譜の要否の記載がない場合は、暗譜の必要はありません。
- ・第2次試験の伴奏者については、本学で用意します。
- ・第2次試験の初見の問題例は、以下のとおりです。

管打楽器コース第2次試験 初見 問題例

Clarinet in B^b

♩ = ca.96

mp

Musical notation for Clarinet in B^b in 3/4 time, starting with a mezzo-piano (*mp*) dynamic. The tempo is marked as ca. 96. The piece consists of four measures of music.

Fagotto

♩ = 54

mp *cresc.*

Musical notation for Fagotto in 3/8 time, starting with a mezzo-piano (*mp*) dynamic. The tempo is marked as 54. The piece includes a crescendo (*cresc.*) and ends with a fermata.

Horn in F Trumpet in B^b

♩ = 112

f

Musical notation for Horn in F or Trumpet in B^b in 3/4 time, starting with a forte (*f*) dynamic. The tempo is marked as 112. The piece consists of four measures of music.

Snare Drum

♩ = 88 ca.

f *mp*

Musical notation for Snare Drum in 2/4 time, starting with a forte (*f*) dynamic. The tempo is marked as ca. 88. The piece features triplets and ends with a mezzo-piano (*mp*) dynamic.

フルート

※第1次試験及び第2次試験で選択した曲の番号及びアルファベットは、受験票および受験者写真票の「区分」欄に、楽器種別とともに記入してください。(例：フルート①A)

原則として、曲目提出後の変更は認めません。

第1次試験

(1) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。暗譜で演奏してください。

(和声短音階または旋律短音階のどちらかを演奏してください。)

(2) 課題曲

a) 下記の5曲より当日指定します。(繰り返しなし、版の指定はしません)

J. Andersen: 24 Studies Op. 21 より No. 1、4、10、13、24

b) 下記の5曲より任意の1曲を選択し、演奏してください。①以外の曲は、版の指定はしません。

① E. Bozza: Image (Leduc 版) 冒頭～2 ページ3 段目 Lento 後のフェルマータまで

② A. Honegger: Danse de la Chèvre 冒頭～48 小節目まで

③ J. Ibert: Piece pour Flute Seule 冒頭～59 小節 1 拍目まで

④ S. Karg-Elert: 30 Caprices Op. 107 より Chaconne 冒頭～Var. XIII 最後まで

⑤ S. Karg-Elert: Sonata Appassionata fis-moll Op. 140 冒頭～51 小節目まで

第2次試験

(1) 課題曲

下記の2曲より任意の1曲を選択し、演奏してください。

Ⓐ W. A. Mozart: Concerto in G major K. 313 より 第1、第2 楽章

Ⓑ W. A. Mozart: Concerto in D major K. 314 より 第1、第2 楽章

演奏箇所は当日指定します。(共にカデンツァなし、版の指定はしません)

(2) 初見

オーボエ

第1次試験

(1) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。暗譜で演奏してください。

(和声短音階または旋律短音階のどちらかを演奏してください。)

(2) 課題曲

W. Ferling: 48 Etudes より (版の指定はしません)

No. 21～30 の中から当日指定します。

第2次試験

(1) 課題曲

F. J. Haydn: Concerto (Breitkopf 版) より 第1 楽章

(2) 初見

クラリネット

第1次試験

(1) 音階

Rolf Eichler: Scales for Clarinet (国立音楽大学教育出版部) 全部の音階中、No. 1の中から当日指定します。ただし、暗譜で演奏してください。
任意のアーティキュレーションで演奏してください。

(2) 課題曲

C. Rose: 32 Etudes より (版の指定はしません)
No. 15～No. 28の中から当日指定します。

第2次試験

(1) 課題曲

F. Krommer: Konzert für Klarinette und Orchester Es-dur Op. 36 より (版の指定はしません)
第1、第2楽章

(2) 初見

ファゴット (バスーン)

第1次試験

(1) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。暗譜で演奏してください。
(和声短音階または旋律短音階のどちらかを演奏してください。)

(2) 課題曲

Julius Weissenborn: 50 Bassoon Studies Op. 8 Vol. II より (版の指定はしません)
No. 1～No. 14の中から当日指定します。

第2次試験

(1) 課題曲

Antonio Vivaldi: Concerto in D minor Op. 45- 7 (F. VIII-5) (International Music Company 版) より
第2楽章 (♩=ca. 66) 及び第3楽章 (♩=ca. 108)

(2) 初見

サクソフォーン

第1次試験

(1) 音階

サクソフォーンのためのトレーニングブック 須川展也 編 (音楽之友社) より

①を全調より、当日指定します。

テンポは ♩ = 100 とします。

アーティキュレーションは、スラーおよびスタッカートとし、当日指定します。

暗譜で演奏してください。

(2) 課題曲

W. Ferling: 48 Études (Leduc 版) より

No. 5、6、13、14、19、20、21、22、29、30、31、32 の中から当日指定します。

第2次試験

(1) 課題曲

A. Glazounov: Concerto en Mi ♭ Op. 109 (Leduc 版) より 冒頭から練習番号 16 まで

(2) 初見

ホルン

第1次試験

(1) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。

2オクターブを任意の形で、暗譜で演奏してください。

(2) 課題曲

C. Kopprasch: 60 Selected Studies for French Horn, Book I (全音楽譜出版社)

No. 15 は必須課題。

No. 14、17、18、28 より当日指定します。

繰り返しなしで演奏してください。Low F、B♭のフルダブルホルンを使用してください。

第2次試験

(1) 課題曲

W. A. Mozart: Horn Concerto No. 3 K. 447 (Bärenreiter 版)

第1楽章 (カデンツァなし)

(2) 初見

(注) ディスカントホルン (ハイ F 管等) を使用しないでください。

トランペット

第1次試験

(1) 音階

Arban: Complete Grand Method (ISM Collection 全音楽譜出版社)

65～81 ページの4、19、25、31、38、42、43、44、47、53、59、65、70～81の中より当日指定します。

(2) 課題曲

a) C. Colin: Advanced Lip Flexibilities Vol. 1 (CHARLES COLIN) より17番を

暗譜で演奏してください。

b) Arban: 14 Characteristic Etudes (ISE Collection) より No. 1、2、3の中から当日指定します。

第2次試験

(1) 課題曲

C. Saint-Saëns: Fantasia en mi bémol (Leduc 版)

(2) 初見

トロンボーン

第1次試験

(1) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。

2オクターブを任意の形で、暗譜で演奏してください。

(2) 課題曲

C. Kopprasch: 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社) より

No. 19、26 は必須課題。

No. 18、20、22、23、27、29、35 より当日指定します。

繰り返しなしで演奏してください。

第2次試験

(1) 課題曲

F. David: Concertino in E \flat Op. 4 (Zimmermann 版) より第1、第2楽章

演奏箇所は当日指定します。

(2) 初見

バストロンボーン

第1次試験

(1) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。

2オクターブを任意の形で、暗譜で演奏してください。

(2) 課題曲

C. Kopprasch: 60 Selected Studies for Trombone (全音楽譜出版社) より

No. (19)、26 は必須課題。

No. (7)、(8)、(13)、(14)、(17)、18、20、23 より当日指定します。

繰り返しなしで演奏してください。

※注 () の課題は1オクターブ下げて演奏してください。

第2次試験

(1) 課題曲

F. David: Concerto (Concertino) in B \flat for Bass Trombone (Zimmermann 版) より第1、第2楽章

演奏箇所は当日指定します。

(2) 初見

ユーフォニアム

第1次試験

(1) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。

2オクターブを任意の形で、暗譜で演奏してください。

(2) 課題曲

a) J. Rochut: Melodious Etudes for Trombone (C. Fischer 版) Book 1 より

No. 5、8、10、16、18、20 (新版を使用してください)

b) C. Kopprasch: 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社) より No. 14、17、23、24、27、32

a)、b) より各1曲を当日指定します (繰り返しなしで演奏してください)。

第2次試験

(1) 課題曲

A. Capuzzi: Andante and Rondo (from Concerto for D. Bass) (Hinrichsen 版 1474)

(2) 初見

テューバ

第1次試験

(1) 音階

長調と短調ひとつずつを当日指定します。

2オクターブを任意の形で、暗譜で演奏してください。

(2) 課題曲

C. Kopprasch: 60 Selected Studies for B Bflat Tuba

(Robert King Music Company 版 Music for Brass No. 278) より

No. 15 は必須課題。

No. 6、7、13、18、19、21、26 より当日指定します。

第2次試験

(1) 課題曲

J. S. Bach / William J. Bell 編曲: Air and Bourree (C. Fischer 版 No. W1647)

(2) 初見

打楽器（スネアドラム）

※スネアドラムおよびスタンドは各自持参し、マリンバおよびティンパニは本学の楽器を使用してください。演奏を途中でカットすることがあります。

第1次試験

- ① All-American Drummer（Ludwig Masters 版）より
Wilcoxon's 132nd、133rd、134th、135th、136th、137th、138th の中から当日指定します。
- ② 深町 浩司：新しい打楽器メソッド（スタイルノート社）より 124 ページから 126 ページの「実践的なフレーズトレーニング 1」を、ティンパニで演奏してください。
（フェルトマレットを使用、4分音符=ca. 72、mf）演奏箇所は当日指定します。

第2次試験

(1) 課題曲

- ① オーケストラスタディ（ティンパニ、ピアノ伴奏付き）
W. A. Mozart: Le nozze di Figaro K. 492 より Overture（序曲）（版の指定はしません）
フランネルマレットで演奏してください。
 - ② Heinrich Knauer: Kleine Trommel Schule（HOFMEISTER 版）より 25 番
4分音符=ca. 72 で演奏してください。
 - ③ マリンバで音階〔楽譜A〕を、暗譜で演奏してください。
すべての長調、短調の中から当日指定します。
2オクターブ、往復、短調は1回目と声短音階、2回目旋律短音階〔楽譜A〕
- (2) 2台のティンパニによる初見（音変え、ペダリングなし）

打楽器（マリンバ）

※スネアドラムおよびスタンドは各自持参し、マリンバは本学の楽器を使用してください。演奏を途中でカットすることがあります。

第1次試験

- ① マリンバで音階〔楽譜B〕を、暗譜で演奏してください。
すべての長調、短調の中から当日指定します。
3オクターブ、往復、短調は1回目と声短音階、2回目旋律短音階〔楽譜B〕
- ② J. S. Bach: Sonata No. 1 in G minor for Violin solo BWV 1001 より
Siciliana と Presto（版の指定はしません）
原調のまま、実音又は1オクターブ下げて、2本マレットもしくは4本マレットで演奏してください。また、繰り返しなしで、暗譜で演奏してください。

第2次試験

(1) 課題曲

- ① Gordon Stout: Two Mexican Dances for Marimba より 1 番(版の指定はしません)
暗譜で演奏してください。
- ② スネアドラムで〔楽譜C〕を演奏してください。〔楽譜C〕

(2) 初見

Ⓐ

Marimba

♩ = 96

Ⓑ

Marimba

♩ = 96

Ⓒ Snare Drum

5 str. 9 str. 9 str. 11 str. 11 str. Single Paradiddle Double Ratamacue

R R L L R R L L R R L L R R L R L 3 R 3

5 10 str. 10 str. Single Stroke Roll Flamaue

R L L R L R L L R L R L R L R L R L R L R

8 ♩ = 60 Closed Roll

p *ff* *p* 3

2. 副科試験

■ピアノ（器楽専攻ピアノコースを除く）

J. S. Bach: Inventionen BWV772～786

J. S. Bach: Sinfonien BWV787～801

上記より任意の1曲を選択し、暗譜で演奏してください。（繰り返しなし）

時間の都合で演奏を一部省略することがあります。

副科試験の曲目の提出用紙はありません。

■新曲視唱

歌詞をともしなわれない初見視唱1題

■聴音

○作曲専攻作曲コース

（1）単旋律課題1題

（2）2声の旋律課題1題（上声は高音部記号により大譜表の上段に、下声は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。）

（3）4声の和声課題1題（Sop. 及び Alt. は高音部記号により大譜表の上段に、Ten. 及び Bass は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。）

○作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻

（1）単旋律課題1題

（2）4声の和声課題1題（Sop. 及び Alt. は高音部記号により大譜表の上段に、Ten. 及び Bass は低音部記号により大譜表の下段に記譜します。）

■楽典（作曲専攻作曲コースを除く）

音楽の学習に必要な基礎知識一般（所要時間：1時間）

令和4年度 愛知県立芸術大学音楽学部一般選抜試験問題

I 和声課題 (作曲専攻作曲コース)

次のソプラノ課題を4声体で実施下さい。

Andantino

The musical score is written for Soprano and is to be performed in a 4-part setting. It consists of 8 staves of music in G major (one sharp) and 3/4 time. The tempo is marked *Andantino*. The score includes various dynamics: *p* (piano), *mp* (mezzo-piano), *mf* (mezzo-forte), and *f* (forte). There are also markings for *poco rit.* (poco ritardando) and *mf*. The score features several slurs, accents, and ornaments, including triplets and trills. The key signature is G major (one sharp), and the time signature is 3/4. The piece concludes with a fermata on the final note.

Ⅱ 器楽曲作曲（作曲専攻作曲コース）

次の三つのモチーフのうち、ひとつを用いて器楽曲を作曲しなさい。

テンポ、強弱、形式、楽器編成は自由。

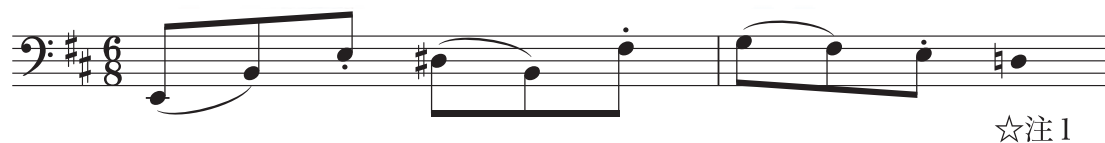
音域も自由だが、曲頭に限り1オクターブ上または下への移高に留めること。



☆注1



☆注2



☆注1

☆注1 音符の長さは自由。

☆注2 音符の長さ、スラーの終点共に自由。

Ⅲ 音楽学に関する基礎的試験（作曲専攻音楽学コース）

【試験問題】

問題1

【別紙1】の文章を参考にして、「音楽と美」について、自由に論じてください。

（文字数の制限はありません。）

出典 谷知子『古典のすすめ』（角川選書、2017年）。

問題2

【別紙2】の文章を読んで、「音楽とリズム」について、自由に論じてください。

（文字数の制限はありません。）

出典 樋口桂子『日本人とリズム感』（青土社、2017年）。

※本学管理棟3階 入試課において閲覧できます。

閲覧時間 午前9時から午後5時まで

ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。

【出題の意図】

学部において音楽学研究をおこなうにあたって必要となる読解力、および論述力を備えているかを問う。

IV 外国語 (作曲専攻音楽学コース)

問題1

和訳してください。

出典 "The New Grove Dictionary of Opera." *Oxford Music Online*.

<https://www.oxfordmusiconline.com/page/the-new-grove-dictionary-of-opera>

問題2

和訳してください。

出典 Alan Rich. *American Pioneers: Ives to Cage and Beyond*. London: Phaidon Press, 1995.
p. 32.

【出題の意図】

学部において音楽学研究をおこなうにあたって必要となる外国語の能力を備えているかを問う。

※外国語の試験問題は、本学管理棟3階入試課において閲覧できます。

閲覧時間 午前9時から午後5時まで

ただし、土・日曜日、祝日等の休業日は除きます。

V 楽典 (作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻)

【試験問題】

譜例はアンリ・ヴュータン (Henri Vieuxtemps, 1820-1881) のヴィオラとピアノのための《エレジー》op.30より7～35小節目である。以下の各問いに答えなさい。(なお譜例中の丸数字は小節番号を表している。また譜例は試験問題に適するよう原曲から一部改変してある。)

- この譜例を1分40秒以内でできるだけ遅く演奏したい。メトロノーム記号(♩=)をどのように設定すれば良いか答えよ。
なおメトロノームの数値は整数とし、演奏に際してテンポの揺れはないものとする。
- (ア)～(コ)の音程を日本語で答えなさい。ただし複音程は単音程に直して考えること。また異名同音程同士(例:「アとコ」)および転回音程同士(例:「アとコ」)の音程をすべて選び、記号で答えなさい。なお、同じ記号を重複して使用してもよい。
- A～Eに示されている箇所での鳴っている各和音の種類(例:「長三和音」等)とその転回形(例:「基本形」「第1転回形」等)を答えなさい。
- 冒頭1小節目(⑦小節目)のピアノの奏法として、適切なものを選択肢から選びなさい。

イ

ロ

ハ

ニ

ホ

ヘ

5. この譜例における調の推移について、以下の問いに答えよ。

(1) 次の各小節から始まる調について、**A**から**E**にあてはまる調を日本語で答えよ。(「ハ長調」等)

⑦小節目～：**A**調 → ⑧小節目～：**B**調 → ⑨小節目～：**C**調 → ⑩小節目～：**D**調 → ⑪小節目～：**E**調

(2) (1)において答えた調の関係について答えよ。(「属調の平行調」等)

[1] **A**調からみた**B**調

[2] **E**調からみた**D**調

6. 譜例について説明した以下の文章の **a**～**k** の下線部について、正しい言葉の番号を下枠の選択肢より選び、番号で答えなさい。なお、必要であれば同じ番号を重複して使用してもよい。

この曲は冒頭6小節のピアノによる前奏を経て、譜例の⑦小節目からヴィオラが旋律を奏している。冒頭に「Andante con moto.」と記されており、a (速さ) かつ b (表情) で演奏するよう求められている。中心となる旋律は、その調における c 音を核とした長音符と付点リズムの組み合わせ、そして⑧～⑨、⑫小節目など頻繁に見られる階名「d」を用いた音型からできている。この階名による音型は調を変えて e 小節目にも見られ、曲のテーマに関わる重要な要素となっていることがわかる。曲は時おり装飾的なパッセージによる抑揚を付けながら進み、⑰小節目では f による音程 (力) を軸とした遠隔転調によって、曲想に劇的な変化を与えている。なお f はこの時代には完全に普及していた音律である g によって実現可能となっており、h にあたる19世紀の作曲家にとって f を応用したこのような転調は、表現的、構造的な変化を効果的にもたらすための重要な手法となっていた。同時代の作曲家には、i 出身で代表作《j》を作曲した k 等がいる。

1. 遅く 2. 歩くような速さで 3. 比較的早く 4. 歌うように 5. 激しく 6. 動きを持って 7. 主 8. 属
9. 上中 10. 下属 11. ド-ファ-ソ-ラ 12. レ-ソ-ラ-シ 13. ミ-ラ-シ-ド 14. ソ-ド-レ-ミ
15. シ-ミ-ファ-ソ 16. ⑬ 17. ⑭ 18. ⑮ 19. 異名異音 20. 同名異音 21. 異名同音 22. 中全音律
23. ピタゴラス音律 24. 平均律 25. 純正律 26. 古典派 27. ロマン派 28. ウィーン楽派 29. 印象派
30. オーストリア 31. チェコ 32. ハンガリー 33. ブラハ交響曲 34. ラ・カンパネッラ
35. ハンガリー舞曲 36. モーツァルト 37. リスト 38. ドヴォルザーク 39. ドビュッシー

7. この譜例において、あきらかに誤りと解釈される音がピアノのパートにある。その音がある小節番号を答えよ。

8. ⑩～⑫小節目のヴィオラパートを、テノール譜表および臨時記号を用いて増4度下に移調しなさい。なおスラーや強弱記号は省略しても良い。

9. 和音 **E** の構成音を一つだけ異名同音変換させた和音が属する調の平行調の音階の上行形を、高音部譜表に全音符および臨時記号を用いて、主音から主音まで書きなさい。ただし、短調の場合は和声短音階で書くこと。

(問題ここまで)

【譜例】

(Andante con moto.)

Viola

Piano

7 *ben sost.* *p*

8 9 10 11 12

13 14 15 16 17 18 *sf* *poco cresc.* *f* *p*

19 20 21 22 23

24 25 26 27 *sf* *cresc.* *f* *tr* *dim.* *p* *mf*

28 29 30 31 32 33

A B C D E

【解答】

1. ♩ = 70

2. (音程) ア 増4度 イ 減3度 ウ 減4度 エ 完全1度 オ 短6度
 カ 減2度 キ 長7度 ク 短2度 ケ 長3度 コ 減5度

(異名同音程) アとコ、ウとケ、エとカ(転回音程) アとコ、オとケ、キとク

3. 和音の種類 転回形 和音の種類 転回形

A 減三 和音 第2転回形 B 短七の 和音 第1転回形

C 属七の 和音 第3転回形 D 短三 和音 第2転回形

E 減七の 和音 基本形

4. ハ5. (1) [A] ハ短調 [B] 変ニ長調 [C] 嬰ハ短調 [D] 変イ長調 [E] ハ短調(2) [1] 下屬調の平行調 [2] 平行調

※「平行調の下屬調」も可

6. a 2. b 6. c 8. d 13./14. e 17. f 21. g 24. h 27.
i 32. j 34. k 37.

7. 18/33 ※どちらでも可

VI 聴音（旋律）

○作曲専攻作曲コース、器楽専攻ピアノコース

主音及び主和音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20秒間隔で、通奏1回の後、4小節ごとに4回の演奏を行う。4回目は次の4小節を続けて演奏し、最後に通奏を1回行う。演奏終了後1分間の時間を与える。

旋律

○作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース

主音及び主和音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20秒間隔で、通奏1回の後、4小節ごとに4回の演奏を行う。4回目は次の4小節を続けて演奏し、最後に通奏を1回行う。演奏終了後1分間の時間を与える。

旋律

VII 聴音（2声）（作曲専攻作曲コース）

主音及び主和音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。
20秒間隔で、通奏7回の演奏を行う。演奏終了後1分間の時間を与える。

2声

VIII 聴音（4声）

○作曲専攻作曲コース、器楽専攻ピアノコース

最初に主音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20秒間隔で
通奏7回の演奏を行う。演奏終了後1分間の時間を与える。

4声

○作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース

最初に主音を与える。小節数、拍子、調性の指示は有り。テンポの指示は無し。20秒間隔で、
通奏7回の演奏を行う。演奏終了後1分間の時間を与える。

4声

Ⅹ 新曲視唱

○作曲専攻作曲コース、器楽専攻ピアノコース

予見時間は1分30秒。主和音及び、開始音を与える。

Moderato

mp

mf mp mf

f mp

rit. ----- a tempo

f sub. p mp

○作曲専攻音楽学コース、声楽専攻、器楽専攻弦楽器コース・管打楽器コース

予見時間は1分30秒。主和音及び、開始音を与える。

Moderato

mp mf mp

mf p mf a tempo

meno mosso

f pp mp

molto rit. ----- lunga a tempo

molto f mp